

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年8月24日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	伊賀市	代表者名	岡本 栄
担当者部署	企画振興部広聴情報課	連絡先電話番号	0595-22-9625
担当者役職	係長	担当者氏名	森 大樹
住所	5152325 三重県伊賀市四十九町3184番地		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石塚 清香
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当市が抱えている課題を把握していただき、次回行う研修のアイデアや内容を明確していただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年8月12日	15時30分	16時30分		60
派遣形態	支援・助言(オンライン)				

### 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	広聴情報課情報政策係職員(森大樹、稲森春香)	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・本市では、市民サービス向上や業務効率化のためBPRが必要であると周知をしているが、どのようにBPRを行えばよいか理解されていない。 ・現場を変えようと思っても日々の業務に忙殺されているため、現場の所属だけで変えることが難しい。 ・共同研究グループのメンバーは現場の若手職員であり、必ずしもICTに精通しているわけではない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・共同研究メンバーが市民サービスの向上を目指すためのマインドとして「サービスデザイン思考」を理解する。 ・共同研究メンバー以外の職員にも内容を横展開できるようにすること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・次回アドバイザーに対して研修を行っていただく予定である。その内容について担当者である私たち広聴情報課情報政策係職員と議論をした。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・研修の内容についての方向性が定まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない2日目に実施する研修の資料が成果物となります。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・2日目の支援でアドバイザーによる研修を行います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 2日目には研修を行いますので事後のアンケートを取得する予定です。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	サービスデザインについて住民サービス等に携わる職員が理解し実践することが最終的な目指す姿となります。	

### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。